

南米ペルーに永遠の名刻む



ペルー共和国の首都リマ市にあるペルー国立博物館で今月十五日、笠間市の陶芸職人、福田美さん(67)が寄贈した世界一巨大な笠間焼花瓶の引き渡し式が行われた。式典はアルベルト・フジモリ大統領をはじめ、両国の大使館関係者や文化人、軍隊など約三百人が出席して巨大花瓶前で華やかに行われ、福田さんも感無量の面持ち。花瓶の台となる笠間産の御影石に刻まれた笠間市(KASAMA)の名は、南米ペルーの地に永遠に残る。

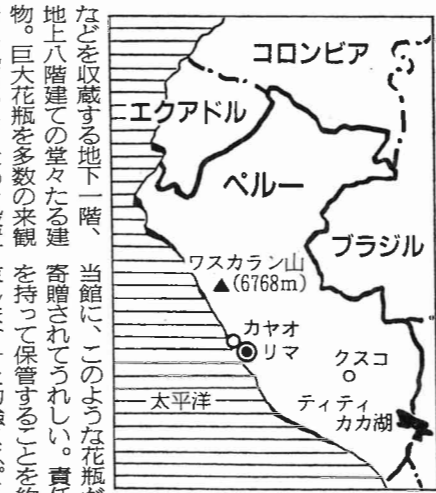
(久保正子)

「現在ペルーの北の方で活躍する海洋学研修の船は茨城県からの寄贈です。このように茨城は多くの援助をしてくれる印象的な県です。今回の花瓶の件では、いろいろな形で協力してくれました。笠間市民の方々に御礼申し上げます。」

引き渡し式でスピーチしたフジモリ大統領は、まず笠間市民に対し感謝の意を表した。そして、ペルー国内の日本人

「文化援助ありがとう」 フジモリ大統領 茨城県に感謝

「現在ペルーの北の方で活躍する海洋学研修の船は茨城県からの寄贈です。このように茨城は多くの援助をしてくれる印象的な県です。今回の花瓶の件では、いろいろな形で協力してくれました。笠間市民の方々に御礼申し上げます。」



「私に作らせた花瓶が、ペルーと日本の友好親善になればと考える」などとスペイン語であいさつすると、会場には盛大な拍手が巻き起こった。

最後にフジモリ大統領、「私の作った花瓶が、ペルーと日本の友好親善になればと考える」などとスペイン語であいさつすると、会場には盛大な拍手が巻き起こった。

笠間市の 巨大花瓶 リマで盛大に引き渡し式

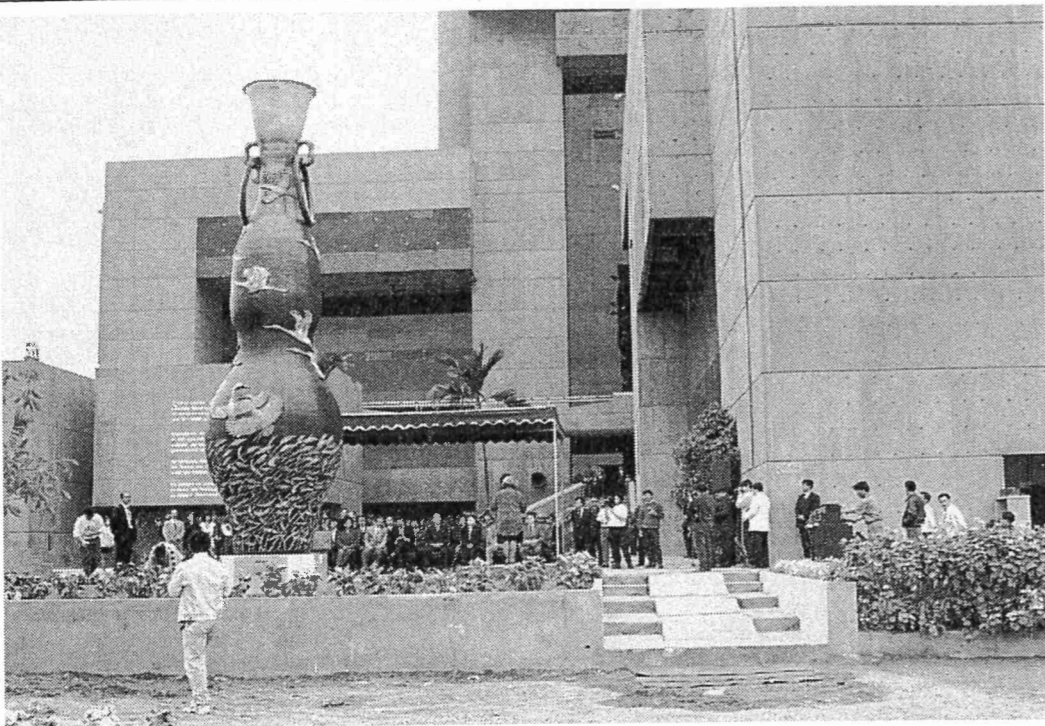
博物館中庭に置く

制作者のスペイン語であいさつ
福田さん

十月十五日午前九時(日本時間同日午後十一時)、曇り。フジモリ大統領がリマ市の国立博物館に到着。多数の護衛に囲まれ、物々しい雰囲気の中、花瓶を制作した福田さんの隣に着席した。船で約一月かけて運搬された巨大花瓶の引き渡し式が、いよいよ始まった。

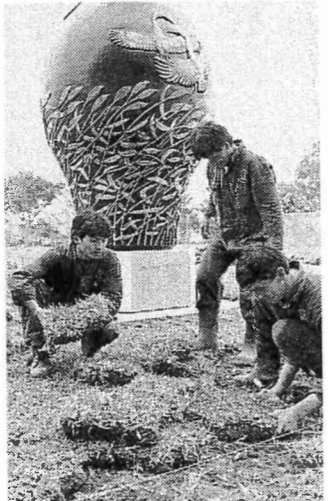


八月に横浜港を出発した花瓶は、約一月間の航海で九月二十三日、リマ市内のカヤオ港に到着。日本人スタッフ二人がペルーに派遣される十日まで、花瓶は国立博物館内で保管された。約五日間という短時間で急ピッチで設置作業が進められた。



ペルー国立博物館中庭で行われた巨大花瓶の引き渡し式

「EL VUELO DEL AMOR」(スペイン語で「愛の放立ち」)の文字が刻まれる巨大花瓶周辺の整備は、博物館専属の庭師を中心に式典前夜まで続けられた。



5日間で設置

軍人ら40人が手分け

八月に横浜港を出発した花瓶は、約一月間の航海で九月二十三日、リマ市内のカヤオ港に到着。日本人スタッフ二人がペルーに派遣される十日まで、花瓶は国立博物館内で保管された。約五日間という短時間で急ピッチで設置作業が進められた。

ベストセラー

◇…BOOK…◇

- ①遺書 (松本人志、朝日新聞社、1000円)
- ②ついに解明された一九九九年 (高坂満津留、光言社、800円)
- ③水戸っぱへの手紙 (池田光男、茨城新聞社、1700円)
- ④天使の自立 上・下 (シドニー・シェルダン、アカデミー出版、各1250円)
- ⑤大往生 (永六輔、岩波書店、580円)
- ⑥検察捜査 (中嶋博行、講談社、1400円)
- ⑦人間・失格 (野島伸司、幻冬舎、1300円)
- ⑧世界大恐慌 (ラビ・パトラ、総合法令株式会社、1600円)
- ⑨政と官 (後藤田正晴、講談社、1500円)
- ⑩小樽地獄坂の殺人 (山村美紗、講談社、760円)

【水戸・川又書店駅前店】
☎0292・31・0102

◇…CD…◇

- ①LOVE OR NOTHING (中島みゆき、CA、3000円)
- ②クロス・ロード (BON JOVI、F、2500円)
- ③砂時計 (宇徳敬子、LDC、3000円)
- ④DEEN (DEEN、G、3000円)
- ⑤シェイク・ザ・フェイス (氷室京介、EMI、3000円)
- ⑥孤独の太陽 (桑田佳祐、AVC、3000円)
- ⑦インプレッションズ (竹内まりや、W・M、2900円)
- ⑧フロム・ザ・クレイドル (エリック・クラプトン、W・M、2400円)
- ⑨ア・プレイス・イン・ザ・サン (今井美樹、CA、3000円)
- ⑩グレイテスト・ヒッツ (シンディ・ローパー、SME、2300円)

【石丸電気水戸店】
☎0292・24・0020

世界最大の花瓶

平成四年一月、笠間市の「製陶ぶくた」五代目、福田美さん(67)が一年かけて完成させた。高さ七・二メートル、重さ四・七トン。厚さは七センチ。重さは上の寄付を集めた。現在のところ、寄付は約五百万円集まっている。

全マスコミが殺到

高さ七・二メートルという世界最大の巨大花瓶の贈呈は、ペルーの報道機関がニュースとして大きく扱った。リマ市内に八社ある全テレビ局と、新聞、雑誌のほぼ全社が、引き渡し式の取材に殺到した。

午前九時からのセレモニーを三十分前かから入りこぼれ、騒ぎとなった。翌十六日には、市内に取材していたアメリカTBSの新聞二社が花瓶の贈呈を一面のニュースで報じた。非常に印象的だ。今夜八時、政治面で紹介した新聞もあり、ほぼ全紙が写真入りで紹介した。写真も。

集合するところ、リマではちょっとした騒ぎとなつた。翌十六日には、市内の新聞二社が花瓶の贈呈を一面のニュースで報じた。非常に印象的だ。今夜八時、政治面で紹介した新聞もあり、ほぼ全紙が写真入りで紹介した。写真も。

責任の追及に向けて事件のイリス刺「ワリブ」に引継ぎなどの相場観や、日黒田、リンゴ生産者、岩崎一水省の判断は不合理の解案